

# 第1 令和2年度当初予算の状況

## 1 予算のあらまし

### (1) 財政環境と予算編成方針

国の令和2年度予算は、「令和2年度予算編成の基本方針」（令和元年12月5日閣議決定）に基づき、賃上げの流れと消費拡大の好循環、外需の取り込み、設備投資の拡大を含めた需要拡大に向けた取組や、Society 5.0時代に向けた人材・技術などへの投資やイノベーションの促進、次世代型行政サービス等の抜本強化といった生産性の向上に向けた取組など、重要な政策課題への対応に必要な予算措置を講ずる一方、「経済財政運営と改革の基本方針2018」（平成30年6月15日閣議決定）及び骨太方針2019に基づく経済・財政一体改革を着実に推進するとともに、2025年度の財政健全化目標の達成を目指し、新経済・財政再生計画に基づく歳出改革を推進しつつ、我が国財政の厳しい状況をふまえ、引き続き、歳出全般にわたり、聖域なき徹底した見直しを推進していくという基本的な考え方により編成されました。

この結果、一般会計予算の規模は、102兆6,580億円（前年度比1兆2,009億円、1.2%増）となっています。

また、令和2年度の地方財政への対応においては、地方が人づくり革命の実現や地方創生の推進、防災・減災対策等に取り組むつつ、交付団体をはじめ地方が安定的な財政運営を行うために必要となる一般財源総額について、令和元年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保することを基本として地方財政対策が講じられました。

この結果、地方財政計画（通常収支分）の規模は、90兆7,397億円（前年度比1兆1,467億円、1.3%増）、一般財源総額は63兆4,318億円（前年度比7,246億円、1.2%増）となっています。

本県では、公債費や人件費の抑制など財政健全化の取組を進めてきた結果、「みえ県民力ビジョン・第二次行動計画」に掲げる県債残高や、「三重県財政の健全化に向けた集中取組」に掲げる経常収支適正度の目標を達成するなど、成果が着実に現れてきていますが、社会保障関係経費が引き続き増加すると見込まれるなど、予断を許さない状況にあります。

こうした財政状況において、本県の令和2年度予算は、「みえ県民力ビジョン・第三次行動計画」のスタート年として、Society 5.0とSDGsの視点を取り入れ、県民の皆さんの安全・安心と未来への希望を両立させる予算としました。

また、予算の使い道について県民の皆さんの理解、共感及び納得性を高めながら県政に参画していただくことを目的として、県民参加型予算「みんなでつくろか みえの予算」（みんつく予算）を初めて導入しました。

一方、行財政運営では、これまでの行財政改革の取組の成果と検証をふまえた「第三次三重県行財政改革取組」に着手し、歳出・歳入両面による取組を継続しながら、経常収支の適正化や県債残高の抑制につとめることとしています。